

JR東海労ニュース

No.2744

2023年2月26日

JR東海労働組合



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ⑥

JR東海ユニオンの春闘要求がようやく明らかに！ 組合員無視の物足りない要求！ やっぱり会社目線の要求だ！

JR東海ユニオンは2月8日に定期中央委員会委員会を行いました。数日後、JR連合のHP上にて、JR東海ユニオンの春闘要求がようやく明らかにされました（下表）。一方、多くの職場において、春闘関係の掲示は貼られていません。

	ベア	定期昇給	手当等	夏季手当
JR東海 ユニオン	3,000円	乗数4完全実施 (400~4,800円)	調整手当分1,000円 総合生活改善5,000円	2.7ヶ月
JR東海労	10,000円	6,000円 (1,500×4)	祝日手当復活など 各種手当の大幅増額	3.5ヶ月

果たして、JR東海ユニオン組合員はこの要求で納得するのでしょうか？世間では、10,000円を超えるベアを要求する労働組合がいる中で、「何だこれは！ふざけるな」と思った組合員が多くいるに違いありません。

JR東海ユニオン中央委員会では、尾内委員長は「組合員のがんばりにより、業績予想は通期黒字に転換。総合生活改善に取り組んでいく決意」と、今井書記長は「自分たちの手で、働きの価値に見合った賃金を」と真逆のことを述べています。

この物価上昇の中で、果たして上記の要求で生活改善できるのでしょうか？要求は、物価上昇率の3分の1以下です。業績の回復は明らかであるのに、なぜ夏季手当要求が2.7ヶ月と控えめなのでしょうか？これが働きの価値に見合った要求なのでしょうか？コロナ以前の要求レベルでも良かったはずですが。会社に遠慮して、夏季手当は控えめの要求にしたとしか思えません。

やはり会社目線で、組合員無視の残念な要求でした。